

# 研究名：小児水頭症に合併するてんかんの臨床像に関する後方視的研究

## 1. 研究の目的

水頭症は脳脊髄液が頭蓋内に過剰に貯留することで頭囲拡大、頭蓋内圧亢進症候、意識障害、発達遅滞、神経学的異常などを来す疾患です。水頭症の患者さんでは、てんかんの合併が多いことが知られていますが、その臨床像、誘因、予後などは依然として解明されていないことが多いです。本研究では、水頭症治療の周術期のけいれん・てんかん発作の臨床像をまとめ、海外既報の治療成績と比較・検討します。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2002年4月～2019年6月までに水頭症に対して手術を行った方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月
- ③ 研究方法：対象患者さんのデータを診療カルテから抽出し、後方視的に解析します。

## 3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテにあるデータ（性別、年齢、病歴、検査データ、画像データ）

**※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**9月30日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 医長 宇佐美憲一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7931）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 医長 宇佐美憲一